



# FUTURE VISION

～21世紀のグローバル企業を目指して～

存在意義 (Purpose)

# 世界を花で笑顔にする

サプライチェーンの  
繁盛が絶対条件

サプライチェーンのオルガナイザー

種苗会社・生産者・輸送業者・市場・  
仲卸・生花店他どこが欠けても成立せず

生産者に感謝  
生花店に感謝

感謝し応援する

気候変動激しく難しい環境で生産頂き有難う  
販売難しい文化的商品を販売頂き有難う

花は喜びを倍増し  
悲しみを半減する

生活する上での必需品

消費者に沢山花を買って頂く  
仕組みづくりを進めよう

# サプライチェーンの繁盛が絶対条件

## サプライチェーンのオルガナイザー

リーディングカンパニーである大田花きは、常に利益向上と事業拡大を目指していく  
社員の所得向上と明日への積極投資が不可欠なため、利益確保がスタートラインとなる

特に生産者・生花店が繁盛するソリューションの提供と価値創造が大田花きの使命であり  
サプライチェーン強化による利益拡大が「世界を花で笑顔にする」パーパス実現のために必要となる

主役である生産者・生花店はもとより、種苗提供する種苗会社、商品を消費地へ届ける輸送業者、  
生産・販売に不可欠な資材業者など、サプライチェーン全体を効率良く機能発揮させるオルガナイザーとして  
大田花きが細部にわたり関りを深めていく

生み出された利益をサプライチェーン全体で適正分配し、業界の維持発展に貢献していくことが欠かせない

# 生産者に感謝・生花店に感謝

## 感謝し応援する

気象変動の振幅が近年激しくなって来た

生産現場では製品化率低下が顕著となり、気象条件先読みした生産計画の立案が求められ、  
加えて農薬・肥料・物流経費や人件費など、あらゆるコストが上昇し、損益分岐点が高まり続けている

生花店では生活必需品の値上がり進む中、嗜好品であり、文化的意味合いの強い花を  
消費者へ提案訴求する事は難易度の高い商行為となっている

サプライチェーンを維持発展させる上で、生産者と生花店のご努力が不可欠であり、  
最良のパートナーであるこの両者の利益確保が何よりも重要となる

生み出される利益を適正配分出来るよう、技術革新と価値創造を念頭に鋭意努力を進めていく

# 花は喜びを倍増し、悲しみを半減する

## 生活する上での必需品

われわれが取扱う商品は嗜好性高い文化的商品であるが、  
生きる上での潤いや癒しをお届けする事が出来る「心の商品」でもある

冠婚葬祭やハレの日、ギフトや自分へのご褒美に欠かせない必需品でもあります

喜びや感謝を伝える名脇役であり、悲しみや寂しさを和らげる商品を我々は扱っている  
生活する上で潤いや癒しを与える花をもっと生産頂き、もっと流通させ、  
もっと買ってもらう事こそがサプライチェーンのオルガナイザーである大田花きの仕事

飾って良し。贈って良し。もらって良し。

万人に喜ばれる花を生産拡大頂き、更に流通させ、「世界を花で笑顔にする」

## Corporate philosophy 企業理念

未来に向かって花のある文化を創造し、人々の暮らしに潤いを届け、  
社員のゆとりある生活を実現します。

### 背景

- ・日本の花文化はヨーロッパなどと比べて低い水準に留まっている
- ・「心の商品」である花を私たちは扱っている。  
我々が豊かな心を持たぬと、花のある暮らしを広めることは出来ない

### ポイント

- ・今後とも花き需要はますます多様化していくものと考えられる
- ・花を愛し、花を楽しむ豊かな心は、希望とメリハリの利いた暮らしから生まれ、社員が希望と遣り甲斐を持って働き、豊かでゆとりある生活を実現することが何よりも大事

### 位置づけ

- ・社会文化・花文化の活性化を実現する上で大田花きの担う役割は非常に大きく重要な位置を占める
- ・仕事を通じてお取引先や株主の方々へ利益をもたらすことが、ひいては社員の幸福につながる

### ゴール

- ・流通の合理化と、花を高鮮度で消費者に届ける事が大命題  
「花のある心豊かな暮らしの創造」=「新しい社会文化の創造」に繋がる
- ・大田花きは社員の幸福を願い、社員と共に発展することを目指している

# FUTURE VISION

～21世紀のグローバル企業を目指して～

## 経営理念 (Management philosophy)

業界のリーダーとして花き流通の活性化を図り、持続可能な社会の実現に貢献します。

- |            |  |
|------------|--|
| 【価値の追求】    | 私たちは、花のサプライチェーンを通し、価値創造を追求する経営をめざします。              |
| 【SDGsの設定】  | 私たちは、SDGsビジョンを持ち、その達成に取り組む経営をめざします。                |
| 【業界の革新・繁栄】 | 私たちは、業界発展のために率先して行動し、革新をもたらし、業界全体の繁栄を追求する経営をめざします。 |
| 【グローバル化推進】 | 私たちは、花きの国際ビジネスをリードするグローバル企業としての経営をめざします。           |
| 【顧客との共生】   | 私たちは、お客様から学び、お客様の良き相談相手となるような経営をめざします。             |
| 【公正な経営】    | 私たちは、花き業界全体、地域社会の繁栄、生活者の豊かな生活に向けて、公平・公正な経営をめざします。  |
| 【企業風土の形成】  | 私たちは、明るく活気があり、風通しが良く、働き甲斐を自ら創造できる企業風土づくりの経営をめざします。 |
| 【個の尊重】     | 私たちは、全社員が多様性を尊重し、自己の成長機会が得られ、情熱を活かす経営をめざします。       |

## Management philosophy 経営理念

業界のリーダーとして花き流通の活性化を図り、  
持続可能な社会の実現に貢献します。



## 背景

リーディングカンパニーである大田花きが生花業界の成長を目指し、生産者の持続的生産を後押しして、生花店の活性化に貢献する

## ポイント

業界活性化を目指す上で、利益確保と積極投資を実行し、以降8項目の具体的実現を社員それぞれが実現するよう努力する

## 位置づけ

上場企業として社会的責任を果たしつつ、圧倒的シェアを確保し、中長期ビジョンの実現を目指して継続安定成長を目指す

## 目標

親切で信頼置ける企業としてサービスレベル向上を目指し、全国シェアで市場認知シェア10.9%を超過し、並列的競争シェア19.3%をマークする

## 事業領域

Solution と Value Creation で、花が身近な未来を創造します。

### Solution (課題解決) について

中立的立場の市場として、利害相反する生産者・生花店の利益向上を双方目指す。

立場の異なる取引先の満足度向上を同時に満たすため、難易度高い取組事案であるが、遣り甲斐もって推進継続する。

川上の種苗会社から、川下のエンドユーザーまでをイメージして、社内は勿論のこと、各所の課題解決を業務の中心に置き、良好なコミュニケーションと共に、立ち止まり思考して、仮説立案しながら業務改善施策を積極的に推進する。

### Value Creation (価値創造) について

取り巻く環境の変化が勢いを増している。

時代にマッチした古くからの慣習は残しつつ、常に業務改善をイメージしながら、時代の要請に呼応した価値(サービス)を生み出し、業界や社業発展の起爆剤としていく。

持続的な成長実現のため異業種のトレンドや、消費者心理、人口動態や経済の見通しなどを見据え、常にアンテナを高く張り、仮説を立てて需要拡大に向けたチャレンジを推進していく。

改善と創出を基軸に、花のある潤い豊かな生活空間を生活者へ身近に感じて頂くステージで当社役割を発揮する。

# FUTURE VISION

～21世紀のグローバル企業を目指して～

## 行動指針 (Conduct guidelines)

- 1.「公平・公正・フェアが基本」  
市場の仕事。それは公平・公正・フェアに考え行動すること。
- 2.「真摯な態度」  
決して卑しい行いや、態度はとらず、真摯な姿勢・態度で行動します。
- 3.「花ソリューションのプロ」  
常に謙虚で精一杯行動して、期待に応えるために自らを磨きます。
- 4.「大切なのは主体性」  
主体性を持ち、新しい仕事・困難な仕事に果敢に挑戦し、自分の幹を太くします。
- 5.「始まりは挨拶」  
人としての信頼と関係性を大切にします。
- 6.「ずっと大田花きをあてにしてもらう」  
全ての負託に応えるために考え、行動し、信頼を高めます。
- 7.「チェックが大切」  
Wチェックや励まし合いなど、仲間のチェック体制を常に高め続けます。
- 8.「時間を活かす」  
計画性を持ち、結果を出すことに考えをめぐらし、時間を大切に活かします。
- 9.「人の幸福を追求」  
人から必要とされ、褒められ、役に立ち、愛されることを探求し続けます。